

## **-漁船事件と中国の猛反発は親中小沢蹴落としの“菅”不正選挙菅政権への当てつけ!-**

海上保安員証言によれば問題漁船は意図的な複数回の体当たり、船長は中国政府意図に従った。尖閣領土問題?、否!。筆者見解では9/14 民主党代表選挙での不正な小沢蹴落とし、田中-小沢と継続する困難辛苦の日本親中派への気配りを中国は忘れてない!。日米の指導者【オバマ+菅】は**正義真実無視**で“最大不幸世界”を招来してる。 2010/09/26

### **[1]:世界目前で明白に中国は日本に喧嘩を売ってる!**

9/7日衝突事件後の、9/19日に拘置延長10日が決まって以後、中国政府と民間人の猛烈な抗議開始、高級政府間交渉中止、音楽家上海公演中止、日本旅行の取り消し、……。たまたまらず政府(千石官房長官)は中国人船長の保釈本国帰還決定。この経緯に保守日本マスコミは領土侵犯等でのけしからんの論調で反中国キャンペーンを展開。だが冷静に考察すれば海上保安庁は漁船の意図的衝突を録画。当然ながら中国も事実を承知してる。なぜ中国は真昼間に不正を堂々世界目前で打ったのか?!

(1)尖閣諸島中国漁船衝突事件(ウィキペディア):

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%96%E9%90%A3%E8%AB%B%E5%B3%B6%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E6%BC%81%E8%8B%9E%8A1%9D%E7%AA%81%E4%BA%8B%E4%B6%B6>

(2)怒らせると怖い、一方、義理には厚い中国人! 不正に怒りを忘れた日本人?。

日本内情に関しては中国情報部は日本人以上かも知れない。近年の中国交易の拡大と共に国内には中国人情報代理人はいくらでもいる、大使館には日本内政分析専門家も居る。彼らは日本中国間千年の歴史は勿論、現代日本内情詳細を知らない訳がない。当然そこでの関心第一は対米支配日本の中での**親中派**である(戦後米国は日中接近を一番警戒)。日中国交樹立その後の過酷な冤罪の田中命運、そして全く同様の継承者小沢命運に関心がない訳がない。そしてあの9/14不正選挙!!!。国内小沢派ネットサイトは無論、怒った!

**やはり不正選挙ではないかと思われる民主党代表選挙**

<http://groups.yahoo.co.jp/group/onoderakouichi/message/742>

**払拭できない民主代表選不正集計機密漏洩疑惑**

<http://uekusak.cocolog-nifty.com/blog/2010/09/post-7140.html>

**党員・サポーター投票という大ザル選挙で決まった菅総理続投**

[http://blogs.yahoo.co.jp/hisa\\_yamamot/18648381.Html](http://blogs.yahoo.co.jp/hisa_yamamot/18648381.Html)

**これには些か驚いた!!、容疑者しか知り得ない秘密の情報?!,それとも、内部告発!!**

[http://hyouhei03.blogzine.jp/tumuzikaze/2010/09/113463\\_987a.html](http://hyouhei03.blogzine.jp/tumuzikaze/2010/09/113463_987a.html)

実は親日中国上層も菅不正政権には怒った!。だがだらしのない日本人、一向にその後はマスコミ表に微動にもこの不正問題が出ない。そこでごうを煮やした一か八かの中国助け船(複数回難破を克服での鑑真和尚来日)こそがあれ!!。この中国真意=親意を判る日本人が如何ほどいるかが、今こそ日本人は良識を測られてる!

## [2]: 中国人は義理を一貫させた！、政府-国民一体での猛烈抗議方を日本人に講義？！。

民主党代表選挙は国内の一政党のひとつの内部選挙のみでは到底済まない責務がある。選出者は国家代表として世界舞台に出るからだ。そこで大々不正がまかり通るとは！。実は中国に限らず、宗主国＝米は無論、世界マスコミは代表選挙に注目、然るに9/22日、菅総理は「最小不幸社会」で国連デビュー( **事実はオバマ大統領同伴の真実無視で最大不幸世界を招来してるという警告には実働しない！、かくて諜報支配世界特徴として、真相は逆転してるのだ!!**、演説順番は突如変更？で米国オバマ大統領の直後とは言え、半数近くが空席、演説中に離席退場者が後を立たず、小ばかにされた舞台となった。その直前での米大統領会見では尖閣諸島漁船衝突事件も議論され、米は日本支持の立場を表明との事だが、その後、船長への拘置延長が決まった19日以後に始まった中国抗議猛攻に屈しての政府筋隠れ勅命(千石官房長官)で24日に、船長保釈決定。首相は地検判断と嘘つき！。

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20100925-00000133-san-pol>

かように菅政権は論理(=真実)筋を一貫させるのでなく、**世論迎合主義**を又してもここで**世界に向けて証明**したのである(前回は小沢氏冤罪を承知での、小沢攻撃一手が、“政治と金”と言うマスコミ迎合の小泉的ワンフリーズポリシー)。要は国策優先に政治生命を賭ける小沢氏とは異なり、一政治家地位として首がつながる事だけが業務である**大勢迎合主義の、(真相は軍産複合体CIA操縦の人形)**、このまま放置では**極めて危険な政治屋**なのだ。

## [3]: 論理指導性欠如(真実無視)のオバマ-菅の日米コンビは世界終末招来政権！！

本サイトは設立2007年以来、論理学の重大性を事あるたびに反復指摘してる。論理学にはデータと云う学習知識が全く無用な唯一科学で、真＝実現、偽＝非実現と言う物理的意味が格別に重大だ。さて**政治は将来に賭けた推論意思決定ゲーム**でもある。実なれば生存が、偽なれば破滅が将来に待つ。すべては将来に賭ける今の決断にある。然るに現日米政権は

- (1)今年は格別世界的に素人目にも**顕著化した気候変動危機**、ここに至ってもまだ無視とは、2007年IPCCバレンシア声明で、現状趨勢では不可逆-急変動天候危機の招来を警告。熱力学第二法則として高温赤道熱は低温南北両極に流れる。結果、赤道-両極間の大気流動増大、赤道と南北両極が大陸直近に近づく。 **救済は大自然の超回復！**
- (2)**負債総計＝通貨資産総計**、唯一世界経済牽引力の米国、だが米金融危機は必然の巨大空需要(至上最大虚偽口実9/11での米戦争負債経済+巨大詐欺負債住宅需要)に由来、偽での破綻、民間需要凋落に対し、最終救済であるべき政府財政を潰す赤字増大財政援助策は逆さま。金持ちを減らさねば冒頭の0サム定理では負債は減らない。
- (3)上記(1)(2)に共通する事は“資本主義延命”が人と地上生命生存を危うくしてる事の無視。資本主義上層＝{貴族+大財閥}と云う者は、己地位保守の為一途に諜報世界を操縦。原因真相を皆が認識すれば、全球人類の知恵行動総動員で**解決法**がないとは思えない。